

介護職員等特定処遇改善加算算定に係る公表

対象年度
令和3年度

介護職員等特定処遇改善加算の算定に係る見える化要件に基づく、当社の①特定加算の取得状況、②賃金以外の処遇改善に関する具体的な取り組み内容を以下のとおり公表いたします。

①特定加算の取得状況

施設名	サービス名	算定区分
グループホームあかぎ	(介護予防)認知症対応型共同生活介護	特定加算 I

②賃金以外の処遇改善に関する具体的な取り組み内容

分類	職場環境要件項目	具体的な取り組み
入職促進に向けた取組	事業者の共同による採用・人事ローテーション・研修のための制度構築	採用面接において、関連法人施設を相互紹介することで求職者の希望に叶う条件提示を実施。関連法人施設との人事異動や連携会議によるレベルアップ、新たな視点からのサービス向上を図っている。
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対する喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等	関連法人の介護研修センターによる介護福祉士、喀痰吸引等研修等の専門資格やレク介護士2級等の関連資格取得支援をはじめ、年間計画に基づく認知症ケア関連の研修受講を行っている。また、グループ会社である特性を活かし、介護職員の負担を軽減する為に介護研修センターより講師を派遣しての短時間出張研修を定期開催している。
	研修の受講やキャリア段位制度と人事考課との連動	
	上位者・担当者等によるキャリア面談など、キャリアアップ等に関する定期的な相談の機会の確保	年に3回、計画的に面談を行い、職員個々の経験や所持資格に応じたキャリアアップについて相談の機会を確保している。
両立支援・多様な働き方の推進	子育てや家族等の介護等と仕事の両立を目指す者のための休業制度等の充実、事業所内託児施設の整備	関連法人で託児所コフレを整備し、子の職業観を育むためのしごと参観日の開催を毎年行っている。
	職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備	非正規職員から正規職員への転換が促進されるよう関係規程に要件を規定化している。
腰痛を含む心身の健康管理	介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援、介護ロボットやリフト等の介護機器等導入及び研修等による腰痛対策の実施	法人が企画する腰痛予防に関わる研修受講、介護ロボット導入による介護負担の軽減を図っている。
生産性向上のための業務改善の取組	タブレット端末やインカム等のICT活用や見守り機器等の介護ロボットやセンサー等の導入による業務量の縮減	赤外線センサーや自動体位変換・分散機能のあるエアマットの導入など、介護職員の業務量と負担の軽減を図っている。
やりがい・働きがいの醸成	ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善	ミーティングを担当ごと、立場ごとに毎月実施しており、職員の気づきや意見を定期的に聴取できる機会を設けるとともに、年に4回全職員と個々に面談することで、職員が他者を気にせず発言できるようにしている。それらの意見を踏まえた勤務・業務の組み立てをする他、入居者様の個別的支援へ取り入れている。
	地域包括ケアの一員としてのモチベーション向上に資する、地域の児童・生徒や住民との交流の実施	毎年頂く地域の中学生在が育てた鉢植えの花を入居者様と一緒にお世話したり、職場体験の受入れが出来ることを地域へ発信している。
	利用者本位のケア方針など介護保険や法人の理念を定期的に学ぶ機会の提供	法人の理念や運営方針について、諸会議における説明と周知を図るとともに、毎月のカンファレンスにおいて利用者の本位やニーズについて、個別的に検討し、学ぶ機会を設けている。
	ケアの好事例や、利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供	にやりホットレポートによる情報の共有、お客様からのお礼の言葉などを、全員が確認できる会議等で公表・共有し、職員がやりがいと喜びを感じて働けるよう取り組んでいる。